

# 静岡県東部地域企業経営動向調査

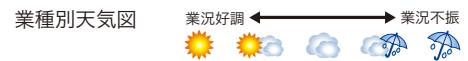
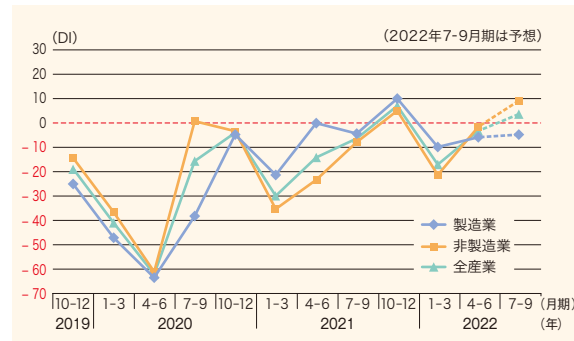
(2022年4-6月期実績、2022年7-9月期見通し)

## ① 業況概要(自社)

### 非製造業でDIが大幅に上昇、製造業の水準を上回る

静岡県東部地域における2022年4-6月期の業況判断DI(全産業:前期比)は-3.2と2期ぶりの上昇に転じた。製造業、非製造業とも上昇したが、特に非製造業は全体で-1.5と20ポイントの大幅な上昇となり、製造業の水準を上回った。ただし、売上が回復している卸・小売・サービス業ではDIが大幅に改善したのに対し、売上・利益とも低下傾向が続く建設では前期に続いて大幅に低下しており、対照的な動きを示している。

2022年7-9月期の予想DI(今期比)は全産業で3.7と上昇している。うち、非製造業では9.2とプラス圏内への上昇を見込んでいるが、製造業では-4.7とわずかな回復にとどまっている。



(2022年1-3月期、4-6月期は前期比。7-9月期は今期比予想)

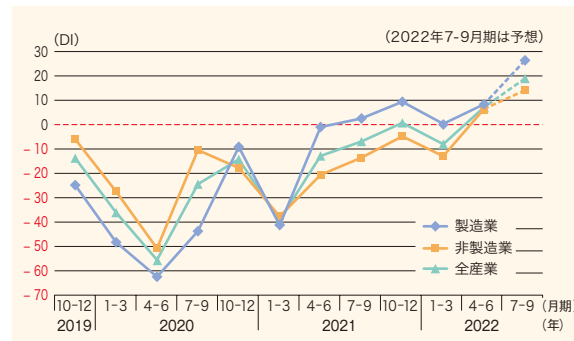
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2022年1-3月期	晴	雨	雨	晴	雨	雨	雨	晴
2022年4-6月期	晴	雨	雨	晴	晴	晴	晴	雨
2022年7-9月期	晴	晴	雨	晴	晴	晴	晴	晴

## ② 売上動向

### 全産業DIは上昇に転じ、2期ぶりにプラスの水準を回復

2022年4-6月期の売上動向DI(全産業:前期比)は6.8と上昇に転じ、2期ぶりにプラスの水準を回復した。うち、製造業は全体で8.0と上昇したが、一部の企業は中国のロックダウンや物流停滞による減産の影響を受けている。一方、非製造業では、建設が大幅に低下に転じたが、旅館・その他宿泊所やその他卸・小売・サービスでは感染の影響縮小による客数増の効果などで大幅に上昇したため、全体では6.1と上昇している。

2022年7-9月期の予想DI(今期比)は、全産業で18.5、うち製造業では25.9、非製造業では13.7といずれも上昇している。

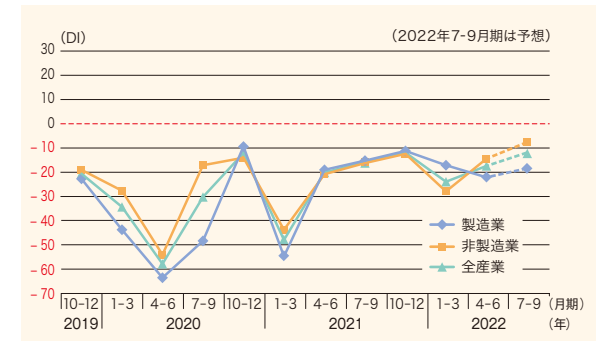


## ③ 利益動向

### 全産業で上昇も、売上動向DIより低い水準にとどまる

2022年4-6月期の利益動向DI(全産業:前期比)は-17.4と上昇に転じたが、DIの値、上昇幅とも、売上動向DIと比較して低い水準にとどまった。うち、製造業では食料品や一般機械器具は上昇したが、パルプ・紙・紙加工品や金属製品などで低下し、全体では-22.1と2期連続で低下した。一方、非製造業では建設で低下が続いたが、売上動向が回復に転じた旅館・その他宿泊所やその他卸・小売・サービスでは大幅に改善し、全体でも-14.4と上昇に転じた。

2022年7-9月期の予想DI(今期比)は全産業で-11.9、うち、製造業で-18.4、非製造業で-7.6といずれも上昇を見込んでいる。



## ④ 経営上の問題点

### 「原材料・資材・仕入商品の値上がり」が6割を超える

最も指摘の多い「原材料・資材・仕入商品の値上がり」が61.6%と6割を超え、業種別でも、卸・小売・サービス業を含むすべての業種で最も割合が高くなっている。併せて、「原料

料・資材・仕入商品の入手難」も前期比上昇に転じ、20.5%と2割を超えるなど、原材料・商品等にかかる問題が経営に大きな影響を及ぼしている。

(複数回答)

問題点	2021年10-12月期		2022年1-3月期		2022年4-6月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 原材料・資材・仕入商品の値上がり	102	45.7%	109	50.5%	135	61.6%	→
2. 受注・売上の停滞・減少	98	43.9%	97	44.9%	100	45.7%	→
3. 人材の育成	83	37.2%	78	36.1%	65	29.7%	→
3. 求人難	73	32.7%	65	30.1%	65	29.7%	↑
5. 従業員の高齢化	71	31.8%	67	31.0%	54	24.7%	↓
6. 原材料・資材・仕入商品の入手難	40	17.9%	33	15.3%	45	20.5%	↑
7. 人件費の増加	43	19.3%	44	20.4%	41	18.7%	↓
8. その他経費の増加	31	13.9%	34	15.7%	40	18.3%	↑

(回答企業223社) (回答企業216社) (回答企業219社)

**調査の概要**

- 調査目的: 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業: 静岡県東部地域に立地する企業771社 回答企業数219社(回答率28.4%)
- 調査方法: 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間: 実績:2022年4-6月期 見通し:2022年7-9月期
- 調査時点: 2022年5-6月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標